

えんだより 10月号

平成30年度
福)五和会
大津保育園

《もうすぐ運動会！！》

秋風が気持ちよく吹いてくる園庭に、白線を引いただけで子どもたちから「よーいドン」のかけっこが始まりいろいろな運動遊びで活気づいています。

朝のチャレンジも復活し、鉄棒・うんてい・平均台などであそびで群れて遊び何回も挑戦する中で、自分なりの目標を持って取り組む姿がみられ、昨日と違う姿のを見つけっこも楽しみの一つになっています。

小人数でも関心をもった子が集まり取り組む様子を見て、「次は僕もやってみたい・・・私も・・・」と少しずつ参加する子の輪が広がり、つばき組やふじ組の演技につながってきた過程を大切にしてきました。

そしてクラス全体で一つの演技になるとそれもまた楽しく盛り上がりを見せています。子どもたちのやりたい気持ちを引き出し、一緒にアイディアを出し合い、作戦会議もし、作り上げていく運動会にしたいと取り組んでいる最中です。

お家の人との競技では、親子で自主的に練習して取り組んでほしいものもあり、子どもたちにも「お家でお父さんやお母さんと一緒に練習してきてね」とメッセージを出しているクラスもあります。

今年度異年齢保育に取り組んで、応援席も土っ子・水っ子・太陽っ子になっていますが、年齢ごとの競技になると、特に同じ異年齢クラスの友達を応援する声が、とても大きくなっていることに気がきました。

『体力面の成長』と同時に『仲間とともに育つ』ことを意識した運動会になるといいなと思っています。

当日は役員の方には道具係りとしてお世話になりますがよろしくお願い致します。

恒例の足形旗は、お子さんの足が毎年大きくなっていくのを見ながら、作って下さるお家の方の愛情が感じられ運動会を一層盛り上げてくれることでしょう。



《子育てのゴールは自立》

島田市民間保育園協会の主催で行われたすすく子育て応援会では、多くの保護者の方の参加により会場も満員でした。講師の蔭山昌弘先生は多くのカウンセリングをしてきておられ、幾多の経験をお話しして下さる中、子育てへのメッセージを沢山いただきました。子育てのゴールは自立＝自分で考え、自分で決め、自分で行動し、自分で責任をとる事。この方向に向かって自分の子を見ているか。自己主張をしっかり受け止めてやる事が一番大切。保育園時代は最もケンカと仲直りの出来る時期であるとも。

子どもへの関わり方で大切にしたい事 4つ

①子どもの話をニコニコしてとにかくきいてやること ②失敗をしっかり受け止めてやること ③叱り方＝いけない行為だけを出来るだけ短く叱る＝その後握手 ④子供に親の弱みを見せるだそうです。

またストレスの解消法は毎日一つ自分を褒める言葉を書くことだそうです。実践してみましょう。

《地域の方に感謝》

今年も『JA 大津支店様』と地域の『赤そばの会』というボランティア団体の方に声をかけていただき、イモ掘りをさせていただくことになりました。

『赤そばの会』の皆さんは大津地区の休耕地を利用し色々な季節の野菜を育てているグループです。

「保育園でもお芋作ってるけど、おばさんたちの畑にもぜひ来てね」と、誘っていただきました。

10月10日(水)ふじ組はJAの畑に、つばき組以下の子どもたちは、赤そばの会の畑に分かれてイモ掘りに行ってきます。

当日は焼き芋も用意して待っていて下さるようです。

【予告】笑顔いっぱい！親子あそび！1

静岡県レクリエーション協会から指導者の方が来て親子の運動あそびを指導して下さいます。3歳以上の園児対象ですが、ご都合のつく保護者の方は是非参加して下さい。

11月9日(金)10:00~10:50 遊戯室です。